

第 3 回あかし S D G s 推進審議会以降の取組における主な意見について

1 あかし S D G s 推進審議会委員と市長との意見交換会

①開催日時	2021 年 10 月 21 日（木）：①9:30～、②11:00～ 10 月 24 日（日）：③13:30～、④14:45～、⑤16:00～
②開催場所	本庁舎 3 階 303 応接室
③出席者	26 名（全体で 30 名）
④内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）あかし S D G s 推進計画素案及び（仮称）あかし S D G s 前期戦略計画素案について ・その他、市政やまちづくりに関することについて
⑤主な意見	<p>【両計画素案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Z 世代と呼ばれる若い世代への行政情報をもっと発信するべきである。 ・あかし S D G s パートナーズの取組は、団体や事業者のやりがいにつながり、波及効果も大きいと思う。 <p>【柱 1】豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の自発的な行動に繋がるように、市民と一緒に脱炭素社会の実現を実現する方法を検討する必要がある。 ・指定ごみ袋を導入することにより、市民の意識が変わると思う。 <p>【柱 2】笑顔あふれる共生社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする人が増えているが、ボランティアの人数が足りていないので、ボランティアを育成する施策も必要だ。 ・聴覚障害を持った高齢者が生活できるグループホームなどを整備してほしい。 <p>【柱 3】こどもの育ちをまちのみんなで支える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の I C T 化に必要な機材を整備してほしい。 ・放課後児童クラブの職員体制の充実を図ってほしい。 ・高齢者に勉強を教わる教室など、世代間交流ができる場があれば良い。 <p>【柱 4】安全・安心を支える生活基盤を強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の整備については、S D G s を体現した建物にするとともに、災害時の防災拠点となるよう対策を講じてほしい。 ・視覚障害者から、地域の情報が回覧板しかなく、災害時に不安であるとの声を聞いている。 <p>【柱 5】まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石の水産物を P R する上で、漁獲量を高める取組が必要ではないか。 ・更なるまちの元気につなげるため、市外から人が安定的に訪れるように、明石の海

を生かした開発を検討してはどうか。

【市政やまちづくりについての意見・要望】

- ・SDGsの達成に向けて、もっとPR・啓発を行い、市民一人ひとりにSDGsを浸透させることが、大きな成果に繋がる。
- ・今後は、若者と女性のエンパワーメントが一層大事になる。

2 関係団体との意見交換会

①開催日時	2021年11月16日（火）15:00～16:20
②開催場所	ウィズあかし7階 学習室701（一部委員はZoomで参加）
③出席者	あかし女性応援ねっと運営委員9名（全体で16名）
④内容	<ul style="list-style-type: none">・（仮称）あかしSDGs推進計画素案及び（仮称）あかしSDGs前期戦略計画素案について・その他、市政やまちづくりに関することについて
⑤主な意見	<p>【両計画素案について】</p> <ul style="list-style-type: none">・県内初でSDGs未来都市に認定された明石市は、フロントランナーとして手本を示す責任がある。・パートナーシップの大切さを強調しながらも、前期戦略計画は市民参画についての記載が少ない。 <p>【柱1】豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める</p> <ul style="list-style-type: none">・環境面を考えるとごみの分別や再資源化について考える必要がある。・新築の住宅に脱炭素につながる設備への補助が必要である。・海に繋がる川にごみが多い。ボランティア活動で清掃を進めてはどうか。 <p>【柱2】笑顔あふれる共生社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none">・支え合う地域づくりを進める上でも、若い世代を巻き込むことが必要である。・健康・長寿について、5大疾患（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）になった方への取組も進めるべきである。 <p>【柱3】こどもの育ちをまちのみんなで支える</p> <ul style="list-style-type: none">・少人数学級の拡大や小学校給食の無償化にも取り組んでほしい。・教育環境のICT化が進む一方で、子どもの近視も進んでいるので、予防が必要である。 <p>【柱4】安全・安心を支える生活基盤を強化する</p> <ul style="list-style-type: none">・若者の自転車に危険を感じることもある。自転車道の整備が必要である。・都市開発には、景観・文化面にも配慮したトータルデザインが必要である。

【柱5】 まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す

- ・「浜の散歩道」を活用し、サイクリングロードを整備してほしい。
- ・地域産業の振興を進めてほしい。特に第1次産業は、次世代への継承が必要である。

【市政やまちづくりについての意見・要望】

- ・明石の人口は社会動態の増加が多い。シチズンシップ（市民の公共意識）を持つ市民を育成することも必要ではないか。

3 あかしSDGs推進計画等市民説明会

①開催日時 (開催場所)	①2021年12月17日(金) 18:30~20:00 (オンライン) ②2021年12月18日(土) 14:00~16:00 (こども健康センター) ③2021年12月22日(水) 18:30~19:30 (オンライン) ④2021年12月25日(土) 10:00~11:00 (大久保市民センター) ⑤2022年1月16日(日) 16:00~17:00 (二見市民センター)
②参加者	①6名、②12名、③2名、④16名、⑤13名 計49名
③内 容	・総合計画等の策定について ・質疑・応答
④主な意見	
<p>【まちづくり全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石は交通の利便性が高くいいまちだと思う。やさしいまちづくりやLGBTなどの施策も素晴らしい。今後も良いまちづくりを続けてほしい。 ・SDGsの取組を始めようとしている。飲食関係ではフードマイレージに取り組むところが多い。兵庫県産の食材を使い、地域で経済が循環するような仕組みを作りたい。 ・市民が行政と関わる場合に、組織の縦割りが支障になることがある。行政の意識改革が必要である。 ・日本語ボランティアをしている。明石にも多くの実習生・研修生がベトナムやインドネシアから来ている。ごみ出しルールは多言語化されたが、市役所にも外国人向けの相談窓口が必要ではないか。 <p>【(仮称) あかしSDGs推進計画素案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標人口は最新の国勢調査を反映した人口推計で設定すべきである。また、国の推計との違いを示すべきはないか。 ・推進計画の行政運営の基本姿勢に指定都市を目指すような記述がある。ポイントは権限委譲との説明があったが、この書き方では誤解を招くのではないか。 ・人口が増えたことにより発生している問題もある。そういう問題を検証することが大事ではないか。 ・推進計画は、みんなで目指すところを設定しているものだと思う。今後、われわれ市民は、個人として、まちづくり協議会として何をしていけば良いのか考 	

えないといけない。

【(仮称) あかしSDGs 前期戦略計画素案】

- ・ごみの分別が明石と神戸では違う。事業者としてはありがたいがSDGs的にはどうか。RPF燃料として活用することも考えられるのではないか。
- ・前期戦略計画の柱②のKPIに市と協働のまちづくり協定を結んだ小学校区が設定されているが、小学校区と加入自治会との整合といった課題がある。
- ・賃貸マンション、ワンルームマンションの住人に自治会に入ってもらえないことが多く、市からの情報が伝わりにくい。ごみ出しのルールが守られないこともあり、安全・安心の観点からしても課題が多い。
- ・明石海峡は魅力的である。明石に海を生かしたテーマパークがあればよいのではないか。釣り客などが増えることによりにぎわいが生まれる。
- ・前期戦略計画の柱⑤のKPIに、図書館等の貸出冊数が設定されている。大久保地区への図書館の設置を検討してほしい。
- ・印鑑証明などをコンビニで取れないので不便である。市役所の立地の悪さもコンビニ交付で解消できるのではないか。